



清中通信



帯広市立清川中学校 学校便り 第4号
 令和7年7月10日発行
 校長 小野 稔之
 学校教育目標 心豊かで、たくましい生徒

1学期に実施した「おびひろ市民学」～総合的な学習の時間～

「おびひろ市民学」は、ふるさとの自然環境や歴史、文化、産業、地域住民との関わりを通して、「ふるさと帯広」に対する誇りと愛着を育み、地域社会の一員として、よりよい地域づくりに関わる子供を育てることを目的として令和2年度にスタートしました。1学期には1年生で、「私たちに出来る備えと行動」という防災講座、2年生で、「人にやさしい帯広を目指して」という手話講座を実施しました。



防災教育では、防災について学んだ後、もしも避難所開設に関わるとしたら、どんな準備が必要だろうか？防災倉庫にはどのようなものが保管されているのか？等の学習をしました。本校体育館は避難所に指定されているので、いざというときに役立つ実際的なシュミレーションをする絶好の機会となりました。



手話講座では、「ろう者」のご夫婦の方にお越しいただき、みんながどのように関わることが大事なのか、手話ができなくても表情やジェスチャーで伝えることができるなど、クイズを交えながら学習しました。

1学年 手作りソーセージ&バターに挑戦！



6月19日（木）、1年生が帯広市畜産物加工研修センターで産業体験学習として手作りソーセージやバターに挑戦しました。地域の特産について学びながら、ふるさとの良さや強みを実感する機会となりました。

翌日、自分で作ったソーセージを家庭で食べた感想を聞くと、「美味しかった、最高！」「人生で一番美味しかった」などと、満面の笑みで答えていました。

小中一貫教育の推進 ～清川小全学年に新体カテストを手ほどき～



エリア・ファミリーの清川小学校からの要望を受け、本校の保健体育科教諭（香島）が清川小学校の全学年の児童に新体カテストを指導することになりました。専門性の高い保健体育科教諭が、児童の発達段階に応じて「走・投・跳」の基本やコツを手ほどきした後、記録を計測しました。低学年の児童は、動作のコツや筋力の使い方などを習得することは難しいですが、低学年→中学年→高学年→中学生と、一貫して指導していくことで、各段階で指導されたことが繋がりと、体力向上が図られるものと期待しています。

全校課題研究学習 「十勝川の自然観察」～地域の自然を知る～

7月9日（水）、エールセンター十勝にて、水質や水性生物の調査をしました。また、川遊びとしてライフジャケットを着用して浮かんで流れる「川流れ」や、網を使って魚をとる「ガサガサ」に挑戦しました。最高気温30℃の真夏日だったので、躊躇なく川に入り、涼を取りながら快適に学習することができました。



各大会の結果

○帯広市中体連夏季大会

女子バレーボール部 6月28日（土）【会場：帯広第五中】

準決勝 対帯八中 2-0 勝利 決勝 対南町中 2-0 勝利 **優勝**

○全十勝中体連夏季大会

野球部 6月28日（土）【会場：幕別運動公園球場】

1回戦 対新得・清水・鹿追・瓜幕中 4-8 敗退

バドミントン部 7月5日（土）・6日（日）【会場：よつ葉アリーナ】

団体戦 男子1部 ベスト 8 1回戦 対士幌中 2-1 勝利 2回戦 対下音更中 1-2 敗退

女子1部 ベスト 8 1回戦 対翔陽中 3-0 勝利 2回戦 対池田中 2-1 勝利